



かみのかわ

ふれあいネットワーク

社協だより No.204

●編集発行／社会福祉法人上三川町社会福祉協議会 ●発行日／令和8年2月1日

●上三川いきいきプラザ内 ☎ 56-3166 FAX 56-3164

「自分らしく最後まで生きる」とは 在宅終末期ケアの実情と患者、家族の声から学ぶ



第25回

かみのかわ

「福祉のつどい」ご案内

日 時 令和8年2月14日(土)

第1部 式 典 9:45~10:35

第2部 記念講演 10:45~12:15

演 題 「最期まで目一杯生きる」

講 師 緩和ケア 萬田診療所 院長 萬田緑平 氏

場 所 上三川町ORIGAMIプラザ 上三川日産ホール



上三川町の地域福祉の推進に貢献された方々を表彰するとともに、社会福祉協議会へ多額の寄付をいただいた方へ感謝状を贈呈します。式典後は、緩和ケア 萬田診療所 院長 萬田緑平氏をお招きし、記念講演を実施します。申し込みは不要です。

皆様のご来場をお待ちしております。

在宅終末期ケアとは

住み慣れた自宅で人生の最期を迎えるために、医師、看護師、介護士などが連携し、身体的苦痛の緩和(疼痛管理・症状緩和)や精神的サポートを行い、「自分らしく」穏やかに過ごせるよう支援するケアです

目次

P1 かみのかわ福祉のつどい	P4 地区社協まつり	P7 善意銀行、嘱託職員募集
P2 くろねえ会議	P5 各種サービス券、成年後見サポートセンター	P8 ふれあい通信
P3 お米でつなぐ未来事業	P6 こんにちは！地域包括支援センターです、理事会・評議員会だより	



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金により作成されています。

「くろねえ」とはこの地域の方言で「心配ない」「大丈夫」といった意味合いをもっています。くろねえ会議は、誰もが「くろねえ、くろねえ」と言って地域で暮らし続けられるために、支え合いの仕組みを考えたり情報交換する場として、各小学校地区(7地区)で開催しています。

町と本会では、令和9年度を初年度とする「第3次上三川町地域福祉計画・第4次上三川町社会福祉協議会地域福祉活動計画」を一体的に策定することとしています。策定にあたって「地域の課題の洗い出し」と「解決のためのアイディアの共有」のための場として、くろねえ会議の中で「地域座談会」を開催しました。

地域座談会ではまず

身近な福祉課題を挙げていただき、



課題解決のために個人ができるここと

地域でできること

を情報共有させていただきました。



坂上小学校



明治南小学校

地域座談会で挙がった課題と 解決のためにできること



課題

ボランティアなど地域活動のなり手が減っている

課題

空き家が増えて火災や草が伸びっぱなしになって心配

課題

近隣住民との交流が少ない

個人でできること

仲間が増えるような声掛け

個人でできること

見回り

個人でできること

日常で声かけ、あいさつをし合う

地域でできること

地域の居場所でボランティア等の出前講座の開催を企画する

地域でできること

所有者がいれば所有者の了解を得て地域で草刈り

地域でできること

公民館を解放して、自由に交流、世間話ができる環境をつくる

地域座談会で挙がった課題や解決のアイディアを今後、深掘りし、皆さんとともに地域をよくするしくみを考え、よりよい計画の策定を進めてまいります。

子育て世帯等へ 上三川産新米をお届けしました



お米でつなぐ未来事業

11月下旬から12月上旬にかけ、生活にお困りの子育て世帯等に向けて、生活を応援するために上三川産の新米をお配りしました。

この事業は中央共同募金会による、物価高により生きづらさを抱える人たちを支える活動を助成する「赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン」の助成金を活用しました。



お米を受けとった皆さんからのメッセージを一部ご紹介します。

この度は、上三川産新米コシヒカリをいただきありがとうございました。上三川に住んでいながら、地元のお米にふれる機会がなく、とても感謝しています。

炊き立てのお米は、甘みがありとてもおいしかったです。今回は、このような機会を設けてくださり本当にありがとうございました。



赤い羽根の物価高騰対策としてお米の支援をいただきとてもありがとうございました。物価が上がり、食料品の購入にも気を使っている中で、お米の支援は生活に直接役立ち、心がとても温かくなりました。

毎日の食卓を支えてくれるお米は、家族にとって欠かせないものです。その大切な食べ物を助けていただきことで、地域の支え合いの力を改めて実感しました。これからも感謝の気持ちを忘れずに生活していくたいと思いました。



お米の配付会

1月18日(日)上三川いきいきプラザ大会議室で、お米の配付会を実施しました。この会では上記事業で配付を希望されなかった世帯分の余剰となったお米を町内在住の小・中学校に通う児童・生徒のいる世帯を対象とし、先着順による受付でお配りしました。ご用意できる数に限りがあり、希望されるすべての世帯へ配付することができなかったことは私どもにとっても大変心苦しい限りです。今後は対象者の設定や周知方法などを十分に検討し、皆様にご理解いただける事業運営に努めてまいります。



令和7年度
赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ
支え合いキャンペーン

この事業は全国の企業・皆様から寄せられた
寄付をもとに実施しています

地区社協事業紹介



ふれあいまつり

明治小学校地区社会福祉協議会(明治コミュニティ推進協議会)

11月22日(土)、明治コミュニティセンターで「ふれあいまつり」が開催されました。

今回は30回記念イベントで来賓とのじゃんけん大会も行われ、大いに盛り上りました。

地域住民の協力のもと、笑顔あふれるまつりとなりました。



ふれあいまつりの様子

ふれあい福祉坂上コミュニティ祭り



坂上小学校地区社会福祉協議会(坂上コミュニティ推進協議会)



12月14日(日)、坂上コミュニティセンター及び坂上小学校体育館で、「第36回ふれあい福祉坂上コミュニティ祭り」が開催されました。

地区のいきいきサロンの作品展示やbingo大会、紙ひこうき大会も行われました。

中学生ボランティアの協力もあり、お子さんから高齢者まで多くの方がお祭りを楽しみました。



ふれあい輪投げ大会



本郷小学校地区社会福祉協議会(本郷コミュニティ推進協議会)

12月13日(土)、本郷小学校体育館で、「輪投げ大会」が開催されました。

団体戦と個人戦が実施され、会場内では綿あめや甘酒の提供もあり、運営には中学生ボランティアも参加しました。

多くの参加者で会場は賑わい、皆さん、笑顔で輪投げを楽しみました。



輪投げ大会の様子

各種サービス券申請のご案内

令和7年度分の申請受付は令和8年2月27日(金)までです

タクシー利用券

対象者

町内に住所を有し居住する、次の①～③の手帳のいずれかをお持ちの方。

- ①身体障害者手帳1級・2級の方
- ②療育手帳A1・A2の方
- ③精神障害者保健福祉手帳1級の方
※施設に入所している方は対象外となります。

申請方法

該当手帳とはんこをお持ちの上、上三川町社会福祉協議会窓口で申請してください。



紙おむつ支給券

理容・美容サービス利用券

対象者

町内に住所を有し居住する、次の①～③の要件をすべて満たす方。

- ①65歳以上の高齢者
- ②介護保険制度における要介護3以上に認定された方
- ③在宅で常に寝つきの状態にある方
※入院・入所している方は対象外となります。



- 申請方法 各地区的民生委員を通じて申請してください。

※民生委員が不在の場合は、本会へご連絡ください。

各種サービス券をご利用される方へ

令和8年度分の申請は、令和8年4月1日(水)から受付します。

- ・令和7年度交付する各種サービス券の有効期限は、令和8年3月31日(火)までとなります。
- ・各種サービス券を他人へ譲渡することは不正行為となります。
- ・本会と協定を締結している取扱い業者のみ使用可能です。



～誰もが安心して暮らせる地域であるために～

上三川町成年後見サポートセンターのご案内



成年後見サポートセンターでは、判断能力が十分でなく日常生活を営むのにサポートを必要とする方が、「成年後見制度」を活用して迅速に適切な支援を受けられる環境づくり(個別相談、出前講座等)を行います。いつでもお気軽にご相談ください。

成年後見制度ってなに?

認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がい等によって物事を判断する能力が十分ではない方について、権利を守る援助者(成年後見人等)を選ぶことで、ご本人を法律的に支援する制度です。

支援の例

- お金の出し入れや、保険料、税金等の支払いのお手伝い
- 福祉サービス・介護の手続きや契約のお手伝い
- よく分からずに結んでしまった契約の取り消し
- 定期的な訪問や状況の確認
- 病院の入院手続きや、施設の入所手続きのお手伝い
- 書類の確認や施設等への改善の申し入れ

ご本人の意向や状況に合わせて支援します



町内の制度利用状況は?



- 利用者数 31人(令和7年9月1日現在)
- 年齢構成 65歳未満…8人 65歳以上…23人
- 援助者の資格等 親族6件 弁護士12件 司法書士8件 社会福祉士8件 その他2件
※1人につき、複数の援助者が選任されている対象者もいます

こんにちは！

地域包括支援センターです



はじめませんか？人生会議

～これから先、どんな人生を歩みたいですか？～

♥人生会議 (ACPアドバンスケアプランニング)

自分が望む医療やケアのことを前もって考え、話し合い、共有することが人生会議です。

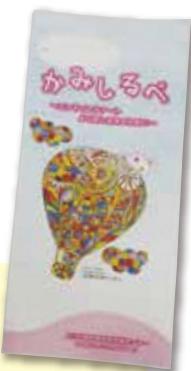
人生の最期まで自分らしくいられるために、そして、家族が安心できるよう、人生の最終段階の医療やケアについて話し合ってみませんか？

♥上三川町のエンディングノート

人生会議のヒントに
ご活用ください。

無料配布中

配布場所：地域包括支援センター窓口



♥人生会議の進め方の一例

考える

あなたが大切にしたいことを
考えてみましょう

気持ちは
変化するものです。
何度も繰り返し考え
話し合いましょう。

書き留める

考えたこと、
話し合ったことを
書き留めて
おきましょう

話し合う

家族と話し合い思いを
共有しましょう

お問い合わせ

上三川町地域包括支援センター
電話 56-5513

お気軽に何でもご相談ください。



理事会・評議員会だより

第3回理事会（11月26日）

左記のとおり会議が開催され、すべての議案が承認されました。

第2回評議員会（12月10日）

報告第1号 令和7年度事業の執行状況について
報告第2号 令和7年度事業補正予算第1号及び
議案第5号 第2号について
議案第6号 定款の一部改正について
議案第7号 令和7年度社会福祉事業補正予算第1号及び
承認について
令和7年度社会福祉事業補正予算第3号の承認について
令和7年度公益事業補正予算第1号の承認について



善意銀行の寄付

皆様のあたたかい
お気持ち



()内数字は寄付回数
(令和7年11月25日～令和8年1月21日)

寄付者	寄付金額
匿名	(42) 10,000円
石浜伸彦 様、上野勝 様	(1) 6,134円
上三川町更生保護女性会 様	(13) 5,000円
匿名	(21) 200,000円
滝沢哲生 様	(16) 4,000円
匿名	(4) 20,000円
匿名	(46) 10,000円
日産自動車労働組合栃木支部 様	(26) 56,810円
渡邊礼子 様	(12) 16,100円
上三川経友会 様	(29) 15,120円
匿名	(43) 10,000円
匿名	(47) 10,000円

寄付者	寄付金額
上三川町社会福祉協議会 White heron 様 (1)	500,000円
吉澤啓子 様 (108)	1,000円
本郷北コミュニティ推進協議会 様 (5)	20,000円
滝沢哲生 様 (17)	4,000円

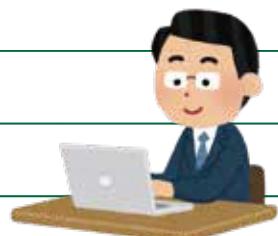


本会
遠藤会長 日産自動車労働組合
栃木支部 様

嘱託職員を募集します。

上三川町社会福祉協議会では令和8年4月1日採用の嘱託職員を募集します。

職種	事務職(常勤嘱託職員)
業務内容	相談支援業務及び本会事務の補助
資格要件	○社会福祉士資格所持者 ○通勤可能で普通自動車免許を有する方
賃金	月額 239,800円 期末手当(6月・12月) 通勤手当 通勤距離に基づく支給
保険	健康・厚生・労働・雇用保険加入
勤務時間	8時30分から17時15分
休日	土・日・祝日・年末年始・夏季休暇



採用希望の方は、①本会嘱託職員採用申込書兼履歴書[本会事務局窓口で配布及び本会ホームページよりダウンロード可。6か月以内に撮影した写真(4センチ×3センチ)を貼付]、②社会福祉士登録証の写しを郵送又はご持参ください。直接ご持参される場合は土、日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分までに本会事務局へお越しください。

詳しくは、本会総務企画係へお問い合わせください。

電話 56-3166

上三川町内の 地域福祉活動をご紹介

ふれあい通信

上三川町では、多くの方がボランティア等の地域福祉活動を行っています。日々活動をしている方にインタビューを行いました。



なか や よう こ
名前:中家 洋子 さん

現在のボランティア活動

朗読コスモスの会会長
朗読コスモスの会は月1回、朗読ボランティア研修会に参加、当番制で毎月「広報かみのかわ」や「社協だより」の録音、CD作成・配布、「アイの会」(視覚障がい者の団体)との交流を行っています。

Q ボランティア活動を始めたきっかけは?

A 高校生の頃に放送部に所属し、言葉を伝える楽しさを学んできました。仕事を辞めたタイミングで、以前から気になっていた朗読講習会を受講し、講習会終了後に、「朗読コスモスの会」に入会して活動を始めたことがきっかけです。

Q ボランティアを始めてよかったです?

A 最初は、「朗読講習会に参加」が目的でしたが、講習会でできた同期、朗読コスモスの会、アイの会の皆様など仲間の輪がどんどん広がって、上三川町に知り合いがたくさんできました。良い町に暮らしているなと感じられていることに、ボランティアを始めて良かったと思っています。

Q ボランティア活動をする中で大切にしていることは?

A 聞いてくださる方を想いながら読んでいます。

アイの会の会員の中で「声の広報」としてCDを聞いてくださっている方がいるため、「この内容は興味を持ってくださるかな」「これは写真の解説も入れて伝えたいね」とメンバーで話し合いながら、録音しています。また朗読コスモスの会は「無理をしないで・できる人が・できる時に」をモットーに、メンバー内で予定を調整しながら、当番制で活動しています。

Q 最後に一言

A ボランティアと聞くと「私にできるかな」と構えてしまうこともあると思います。新しい出会いや活動を通して視野、世界が広がりますので、ぜひ興味のあることから始めてみてください。



事務局から ひとこと

着付け教室の先生も務める中家さん。

聞いていて疲れない読み方、癖が無いように話す方法を学んでいると伺い、とても難しそうを感じましたが、「みんなに会って、一緒に音訳の勉強をすることがとても楽しい!」と充実している活動について終始笑顔でインタビューに応じていただきました。

右記のQRコードを読み取ると本会ホームページへアクセスできます。

各種事業報告や申請書、社協だよりバックナンバーなども掲載しておりますので
ぜひご活用ください。



全てに関する連絡・相談・お問い合わせ先

社会福祉法人

上三川町社会福祉協議会

社協だよりについて、みなさまからのご意見をお寄せください。

住 所: 上三川町上蒲生127-1(上三川いきいきプラザ内)

電 話: 0285-56-3166

F A X: 0285-56-3164

メ ール: soumu@kamisyakyo.or.jp

H P: <https://www.kamisyakyo.or.jp/>